

令和8年度 山口県中学校新人体育大会ソフトテニス 競技上・会場使用上の注意

令和8年10月10日（土）・10月11日（日）予備日：10月13日（火）

会場：維新百年記念公園テニス場

1. 競技の進行について

- (1) 現行の（公財）日本ソフトテニス連盟のルールブックに則って行う。
- (2) ゲームは、団体戦についてはすべて7ゲームマッチを原則とする。悪天候による競技の中止や延期によっては、5ゲームマッチに変更することもあり得る。なお、今大会は12月26日（土）に広島県で開催予定の「中国地区中学生ソフトテニスインドア大会」の予選会を兼ねるため、男女とも団体戦上位2チームについては、その出場権を得るものとする。出場権を得たチームが出場を辞退した場合には、準決勝で敗退したチームから順位を繰り上げて、出場権を渡すこととする。辞退したチームに敗退したチームを最優先とする。
個人戦については、すべて5ゲームマッチを原則とする。個人戦については、「中国地区中学生ソフトテニスインドア大会」の予選会を兼ねない。
- (3) 団体戦については、1チーム3ペア編成の点取り対抗トーナメント戦とする。
 - ① オーダーはその都度変えても良い。登録選手の変更は、変更届けを必ず提出する。（提出は、大会当日受付時に提出すること。）
第一試合のオーダーは、監督会議終了後すぐに提出すること。
 - ② 3ペアの中で、半数以上（2ペア）欠けた場合は以後競技を続けることができない。
 - ③ 1ペア欠けた場合のオーダーの欠番は、3番目とする。
 - ④ 1チーム2ペアのチームは3対戦目をOPENとすること。相手の3対戦目のペアを不戦勝とする。
2ペアのチーム同士の対戦で1勝1敗となった場合は、得失ゲーム数や得失点で勝敗を決める。
- (4) 団体戦はどちらかが初戦のときは3ペア全部が行い、以後は2点先取した方を勝者とし、試合を打ち切る。
対戦相手が2ペアしかない場合、3番手の試合は行わない。
- (5) 団体戦・個人戦ともに、順位決定戦は実施しない。順位決定の仕方は、県選手権大会と同様とする。
- (6) 使用球 男女団体戦：ケンコー 個人戦：男子 ケンコー 女子 アカエム
- (7) 試合前の乱打は1分以内とするが、乱打をしないときもある。
- (8) チェンジサイズの際とファイナルゲームに入る前のコーチについては45秒で、ヒートルールを適用した場合には、2分45秒で「レッツ、プレイ」をかける。
- (9) 中学校で中体連に登録してある外部コーチのベンチ入りを認める。1人のコーチが複数のチームのベンチに入ることはできない。クラブチームは、コーチ以上の資格をもっている指導者のベンチ入りを認める。
今年度より発足したチームの場合、年度内に講座を受講し、コーチ以上の資格を取得する予定である場合に限り、取得中としてベンチ入りを認める。

2. 雨天の場合について

雨天の場合は監督者会議を開き、実施を検討する。中止・延期の決定は県中体連役員・専門部長・専門委員長・副専門委員長で行う。※中止の場合は、順次日程を予備日に繰り越すこととする。雨の状況によっては、2日目、または予備日に団体戦一部と個人戦の一部を実施することがある。

3. コート割について（組み合わせに記載）

進行によりコート変更をすることがある。

4. コートマナーについて

- (1)コートには、試合中の選手（団体戦は登録選手のみ）・監督又は外部コーチのいずれか1名しか入ることができない。
- (2)ベンチは小さい番号が、審判台から見て左側とする。
- (3)次の試合のチーム、ペアは、今行われている試合や放送に気を付けて待機し、終われば速やかにコートに整列すること。
- (4)ラリーが続いているとき、及びサービスモーションを起こした時点からの応援の発声は禁止する。
- (5)過度のかけ声または相手を不愉快にする発声をしてはならない。
- (6)チェンジサイズ時のベンチ監督からのアドバイスを除き、インプレイ中における監督、選手、外部コーチ、その他観客からのアドバイスを禁止する。過度の声かけが認められる場合、イエローカードの対象とする。
- (7)審判に対して質問できるのは、団体戦ではベンチ入りしている監督（コーチ）またはプレイヤー、個人戦ではプレイヤーのみとする。なお、異議・申立はできない。
- (8)原則として、応援スタンドなどベンチ外から、うちわやタオルで選手を扇ぐ行為や、飲み物等を直接渡す行為は禁止されている（競技規則上の助言・支援行為とみなされるため）。選手は十分な量の飲み物や冷却グッズを、必ずコートへ入る前に各自で準備して持ち込むこと。ただし、熱中症予防のため、試合中に手持ちの飲料が尽きた場合や体調不良を感じた場合は、速やかに審判へ申し出て、審判および相手校の監督・コーチの許可のもと、速やかに水分の補充をすること。
- (9)試合中、選手および監督・コーチは、原則としてベンチ（またはコート）から退出することはできず、一度退出した場合はその試合中、元に戻ることはできない。ただし、お手洗いや体調不良等のやむを得ない事情がある場合は、正審に申し出て許可を得ることで、一時的な退出および再入場を認められる。
- (10)個人戦等において、自チームの試合が隣接するコートで同時に行われており、監督・コーチが隣のコートのベンチに入っている場合、選手が隣のコートのベンチへ赴き、アドバイスを受けることができる。

5. 審判について

- (1)団体戦・個人戦ともは、第1試合は本部より指定（組み合わせ表に記載）、第2試合以降は敗者審判とする。
- (2)正審と副審の2人で行い、その判定区分を明確にすること。
- (3)正審は副審のサインを確認した後に、大きくはっきりコールすること。
- (4)イエローカードを発する場合、口頭にて行い、スコアシートに記録をとる。
- (5)試合終了後、勝者は直ちにスコアシートを本部に届け、次の試合のスコアシートをコートに持っていくこと。敗者はボールとボードの保管をし、次の試合の審判をすること。

(6) 中国大会や全国大会に向けてコイントスを行う。

試合開始前のコイントスは、**副審**が以下の手順で行う。（※副審がいない場合は正審が行う。）

- ① **整列と確認**：両ペアがネット越しに整列・挨拶後、正審が名前と所属を確認する。
- ② **コインの提示**：副審が、コインの「A面（表）」と「B面（裏）」を両ペアに示す。
- ③ **トスの実施**：副審が指でコインをはじくなどして上方に投げ、コートに落とす。
- ④ **選択権の決定**：落ちたコインの面によって、以下の通り選択権（先取権）が自動的に決まる。



A面（表）が出た場合：正審から見て **右側** のペアが権利を獲得。

B面（裏）が出た場合：正審から見て **左側** のペアが権利を獲得。



- ⑤ **権利の選択**：権利を獲得したペアが、「サービス」「レシーブ」「サイド（コート）」のいずれかを速やかに選ぶ。敗れたペアは、残りの選択を行う。

※ 審判でトラブルにならないために

- ① 大きな声で、はっきりとジャッジをする。
- ② カウントを正確に数える。副審も数えておく。
- ③ 判定区分を侵さない。ただし、正審・副審ともボールが落ちた場所は把握しておく。

6. 服装、用具について

(1) ユニフォームは、（公財）日本ソフトテニス連盟の着用基準を満たしたものとする。ただし、学校指定の体操服は可とする。シャツの袖をまくったり、ズボンを下げて履いたりしない。監督・コーチは、上下ともスポーツウェアを着用する。

(2) 服装・用具に新たにデザイン等を入れずに、装飾をしないこと。

(3) 背中ゼッケンをつけること。大会要項に記載している3段ゼッケンを使用すること。上衣の裾はパンツ（スコート）の外に出してもよい。監督も胸ゼッケンをつけるか、チーム名・名前を記載したネームホルダーまたはIDカードホルダーを着用する。

(4) コート内では、選手はもちろん監督も必ずテニスシューズを着用すること。**靴や靴紐などを意図的に色違いにしない。**

(5) 服装（用具を含めて）の色の規定に準じて、医療用具（サポーター・テーピング等）の使用を認める。アンダーウェア（シャツ・パンツ）の使用を許可する。色は単色とする。色の指定はなくなったが、別色ラインなどはNG。

(5) **選手の腕等へのペイント・文字の書き込み、磁気ネックレス、装飾品（ミサンガ等）、腕時計の使用は禁止する。ボールホルダーにもキーホルダーなどの装飾品はつけてはならない。**

(6) **ベンチでの監督、選手の日傘の使用を認めるが、反射したり、ボールの色と重なったりすることのないように黒、紺、青等の濃い色のものを使用すること。観客席で使用する場合（観客・応援者等）も同様とする。**

(7) ベンチへの電子機器（スマホ、携帯型・首掛け扇風機等）の持ち込み・使用を禁止する。暑さ対策は氷のうやうちわ等で対応すること。

7. 会場使用上について

- (1)弁当がらなど、ごみはすべて持ち帰ること。
- (2)病人や負傷者が出た場合、本部の救護係で簡単な対応はできるが、病院等への搬送は各チームで責任をも
ってすること。
- (3)喫煙は、喫煙場所ですること。
- (4)待機場所でのテントの使用は認めるが、通路にあたる部分にはテントを張らないこと。
- (5)駐車場については、所定の場所を利用すること。

8. その他

昨年度の団体戦優勝チームは優勝旗、準優勝のチームは盾を返還してください。該当するチームが不参加の場合は、各支部専門委員長が支部内の団体戦に出場するチームにあずけるなどして、確実に返還をお願いします。（個人戦は、優勝旗等はありません。）

昨年度：男子団体戦 優勝：周南クラブ

準優勝：永源ソフトテニスクラブ

女子団体戦 優勝：周南クラブ

準優勝：M' s

【大会参加におけるルールとマナーについて】

本大会は、中学校の教育活動の一環として開催されている。所属チーム（学校・クラブ）にかかわらず、参加する選手は以下のマナーを厳守すること。

- ・**スマートフォンの使用を控える。** 多くの学校のルールと同様に、会場内での選手のスマートフォン等の使用を控える。家族との連絡等で必要な場合は、指導者や保護者の方の管理のもとで行う。
- ・**中学生としてふさわしい行動を。** 挨拶やフェアプレーの精神を大切にすること。また、会場の美化（ゴミの必ずの持ち帰り）に努める。

貴重品の管理については、各チームで十分に注意されてください。高額なラケット、貴重品については選手自らが身に付けて移動させるか、貴重品を監督が預かり、持ち歩くようお願いいたします。監督自身の貴重品につきましても、「置きっ放し」にならないようご注意ください。